

■奉祝：あけましておめでとうございます

平成24年 元日

サニモト

子供の頃の正月は大いに希望を抱き、楽しく待ち遠しいものがあった。それがもうこの歳になると、日頃お世話になった方々への年始挨拶はとっくに欠礼し、恒例の初詣もなくなり、新たな希望や決意も沸かず、めでたくもあり、めでたくもなしの正月と言ったところである。

昔はこの日、我が家をはじめ、街中何処の家の玄関先にも日の丸の旗を立て、学校も登校日となり、国歌『君が代』を齊唱し、威儀を正した校長先生からの教育勅語を拝聴、祝日としての行事を行い、國中が厳肅な日だったものである。

そこで当時を振り返り小学唱歌でも歌ってみよう。

『日の丸の歌』（作詞：高野辰之 作曲：高野貞一）

①白地に赤く

日の丸染めて

あゝ美しや

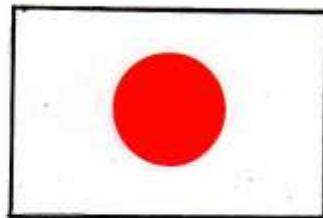
日本の旗は

②朝日の昇る

勢い見せて

あゝ勇ましや

日本の旗は



以前のNHKテレビでは、一日の放送が終わった深夜には、国歌君が代のメロディーと共に、国旗日の丸をなびかせ、放送終了の知らせとしていたが、今日放映が24時間絶え間無く続いている関係もあってか、このはためきは映像からは消えてしまっている。

現在日本の政権を担う民主党のシンボル、即ちその党章は日の丸を切り刻み、上下に繋ぎ重ねたあのギザギザマークである。

昔源平の合戦勝負の場、扇の的で名高い那須与一は、舟上の扇日の丸印しを直接射貫くのは日輪信仰からして誠に恐れ多いと、敢えて不利を承知で狭い要の部位を狙った話とは極めて対象的で、心ある日本人の感情を逆なでするギザギザである。

アメリカの国旗星条旗は、彼らの国土が増加する毎に星を加えてきた歴史がある。それに似せ、他国から不法に占拠された北方領土や竹島、更に国中に点在する米軍基地を象徴してか、自ら日の丸の一部分を欠落させ、その不条理性をアピールしてるとすれば、それはそれで誠にもって見上げた了見である。

北海道の先にも『日本』がある

エエッ！それって何のこと。

ある街角でこの標題キャッチフレーズを見たときである。

以後“日本で一番大きな島は何処のナニ島か？”と時々周辺の人聞いて見ると、その答えは常に“淡路島？それとも佐渡島かしら”と、あまり自信がなさそうな返事が返ってくる。

ここ北海道の人ですら、択捉島や国後島が日本の領土だと思ってはいない節が、この質問的回答からも見えてくる。

数年前根室半島の先端納沙布岬に行ったときである。

そこには『日本最東端の地』という標識が建っていた。

まだ稚内方面には行ったことが無いので断言は出来ないが、旅行案内書には宗谷岬の頁があり『日本最北端の地』と印したモニメントが写っている。

調べてみると我が国の最北端は、宗谷岬より緯度 $0^{\circ}01'$ の僅差で、択捉島はカモイワッカ岬（北緯 $45^{\circ}33'$ 東経 $148^{\circ}45'$ ）となるのである。

更に北海道東部の地図をよく眺めると、根室海峡に突き出た野付半島近くに迄、奥深く手を突っ込んだかの位置に国後島がある。

また納沙布岬から見える歯舞諸島の貝殻島までも僅か 3.7kmと目と鼻の先である。

第二次世界大戦の終了間際、日本との不可侵条約を破って一方的に進攻してきたソ連軍によって占領された国後、択捉、色丹、及び歯舞群島からなる『北方領土問題』一日も早く両国の円満（全く絶望的であろうが）解決を願うものである。

【閑話休題】



石原慎太郎都知事のアピール

①我国で最も大きな島は択捉島で、次いで国後島、沖縄本島、佐渡島、淡路島の順である。

②更に我が国最東端は、納沙布岬ではなく、東京都の南鳥島（北緯 $24^{\circ}17'$ 東経 $153^{\circ}59'$ ）である。

③また我が国の最南端は、これも東京都は沖ノ鳥島（北緯 $20^{\circ}26'$ 東経 $136^{\circ}04'$ ）にある。

この沖ノ鳥島は「唯の岩石だ」と言って北京政府は認めないと言っているが、石原都知事は“これも我が国の領土である”と「排他的經濟水域」を拡大、国益確保を強く主張している。

④序でに日本の最西端の地と言えば、沖縄県は与那国島（北緯 $24^{\circ}27'$ 東経 $122^{\circ}56'$ ）になる。

北海道に来て二度目の正月を迎えることになった。
若い頃は現役を離れ、年金生活にでもなったら外国に移住しようかとも考え、その準備もしており、最初はオーストラリアが候補地であった。
それが時の経過と共にハワイになり、更に物価が安いと言うタイ国に変化していくが、近年になって食べ物や言葉習慣の違う外国へは興味が薄れ、国内で快適な北の大地北海道（函館とは限らなかった）と言う結論になっていたのである。

雪深い冬の寒さを一番警戒していたが、まだ二冬目ではあるが実体験からみても、さほどの苛酷さ厳しくもなさそうで、この分では案外楽しい新転地となりそうである、と言うのが現在の心境である。

さてこの北海道と言って思い出す歌には『そーらん節』や『襟裳岬』『函館の女』『小樽のひとよ』等々、色々と心打つものがあるが、ここでは『知床旅情』を口ずさみ、過ぎし旅情の想いを振り返ってみよう。

作者森繁久弥氏も先年天寿を全うし、周囲に惜しまれながらもこの世に別れを告げていった。

併せ己れも天寿の全っとうをと欲張った願いをしておこう。

『知床旅情』（作詞・作曲：森繁久弥）

①知床の岬に はまなすの咲く頃
思い出しておくれ 僕たちのことを
飲んで騒いで 丘に登れば
遙か国後に 白夜は明ける

②旅の情けか 酔うほどにさまよい
濱に出て見れば 月は照る波のうえ
今宵こそ君を 抱き締めんと
岩陰によれば ピリカが笑う

③別れの日はきた 羅臼の村にも
君は出て行く 峠を越えて
忘れちゃいやだよ 気まぐれカラスさん
私を泣かすな 白いかもめを
白いかもめを

今年もよろしくご指導お願い申し上げます。

国際法からみた北方領土

北方領土問題対策協議会資料より

■ 日本領 ■ 日本・ロシア混住地 ■ ロシア／ソ連領 □ 帰属未定

1



1855年 日露通好条約

1855年(安政元年)2月7日、現在の静岡県下田市において締結され、下田条約とも呼ばれています。この条約で両国の国境は、択捉島とウルップ島の間に決められ、択捉島、国後島、色丹島、齒舞群島は日本の領土とし、ウルップ島から北の千島列島は、ロシア領として確定されました。また、樺太は両国民の混住の地と決められました。

2



1875年 樺太千島交換条約

1875年(明治8年)、日本は、千島列島をロシアから譲り受けたかわりに、樺太全島を放棄しました。この条約では、日本に譲渡される千島列島の島名を一つ一つあげていますが、列挙されている島は、ウルップ島より以北の18の島で、択捉島、国後島、色丹島、齒舞群島の北方領土は含まれていません。

3



1905年 ポーツマス条約

1905年(明治38年)、日露戦争の結果、北緯50度以南の南樺太が日本の領土となりました。

4



1951年 サン・フランシスコ平和条約

1951年(昭和26年)、日本は、千島列島と南樺太の権利、権原及び請求権を放棄しました。しかし、放棄した千島列島には択捉島、国後島、色丹島、齒舞群島の北方領土は含まれていません。なお、この条約では放棄した地域が最終的にどこに帰属するかについては、なにも決められていません。